

持続的な北海道に向けた 関係人口を活用した次世代育成事業

NPO法人ezorock

■ 団体概要



「RISING SUN ROCK FESTIVAL」における環境対策活動をきっかけに2001年4月設立。
北海道の地域課題に対して、若者のアイデアやパワーを届ける事業を展開。
活動を通して若者が社会課題に対し主体的に参画する機会を作り出しています。

【2020年度実績】

・活動地域：北海道内14市町村・活動日数：のべ443日・活動人数：のべ1,762人

【キーワード】

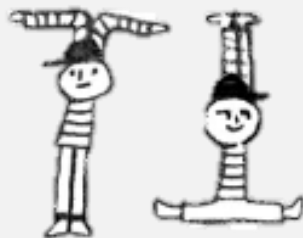
#ごみ #畑 #環境対策 #自転車 #薪 #森づくり #地域 #野生動物 #環境教育 #野外体験
#災害支援 #関係人口 #青年層育成 #社会教育 など

■ 活動概要

進学や就職のため、道内の青年層の内約4割が札幌近郊に集中している。地域の担い手の確保が急務となっている。



担い手となる若者、地域づくりに関心を寄せる若者は地域内外に存在するが、地域に関わる窓口やきっかけがつかめていないケースが多くみられる。



「関係人口」に注目が集まるが、担い手や展開方法は依然として模索が続いている。



関係人口・社会教育をキーワードに、

若者が地域づくりに参画し、次世代の担い手として育つモデルを作成し波及させる。

【石狩市浜益区における滞在拠点の整備、地域と連携した地域づくり活動の実施】

【各地で実施されている地域づくりへの都市部の若手人材の巻き込み】

【社会教育セクターに対する事例についてまとめたテキストの配布、中間支援の実施】

■活動概要

「関係人口」について

特定の地域に継続的に多様な形で関わる人で、
観光以上移住未満と例えられることもある。
近年、地方創生の観点から注目される。

「その地域には住んでいないが、
気づけば地域づくりに関わっている人
「災害時などいざという時に、普段の
繋がりを活かして**地域の力になろうとする人**」



「社会教育」について

公的にだれでも参加できる学習の機会を促すもの。
自治体の教育委員会には、専門職である社会教育主事が設置され、公民館・図書館・青少年スポーツクラブ・高齢者サークルなどを管轄する。
地域住民の**主体的な活動を支え、促す**役割を持つ。
2020年度より「社会教育士」制度スタート。



■モデルづくり①



【石狩市浜益区における滞在拠点の整備、地域と連携した地域づくり活動の実施】

石狩市浜益区とは

石狩市最北端。2005年に隣接する厚田村、石狩市と合併。
豊かな山々と海に囲まれており、水産業・農業が基幹産業である。
人口約1200人、高齢化率約56%。公共交通はバスのみ。

浜益とezorock

2015年のイチイの巨木との出会いから子どもの自然体験活動などを実施。
2019年から旧職員住宅を借り受け、滞在場所として整備を開始。

■モデルづくり①



【石狩市浜益区における滞在拠点の整備、地域と連携した地域づくり活動の実施】

実施内容 滞在拠点のリフォーム・整備



成果① 浜益へ通う・滞在する若者の増加／活動の幅の広がり

2018・19年度 活動日数：48日 活動人数：のべ156人

2020・21年度 活動日数：129日 活動人数：のべ449人

（果樹園お手伝い・集落の教科書作成・ワーケーションプログラムなど）

成果② 地域おこし協力隊の着任

■モデルづくり①

【石狩市浜益区における滞在拠点の整備、地域と連携した地域づくり活動の実施】

- メディア掲載：2件・視察：0件（2019年度）
- メディア掲載：6件・視察：0件（2020年度）
- メディア掲載：6件・視察：6件（2021年度）

2021/11/29 北海道新聞



2021/2/20 北海道新聞



2021/7/21
北海道新聞



2021/3/6
北海道新聞



2021/3/9
北海道新聞



2022/2/8 北海道新聞

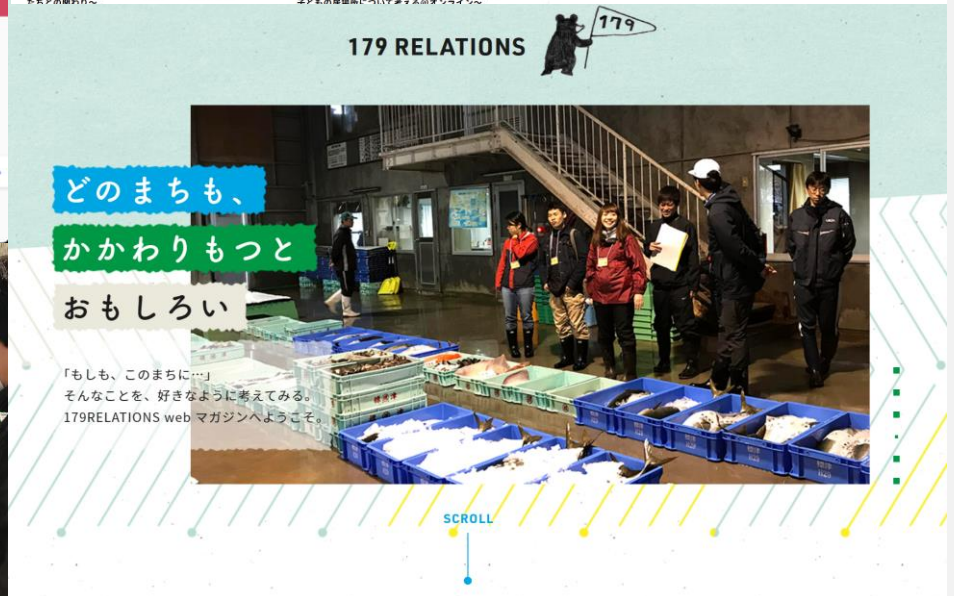
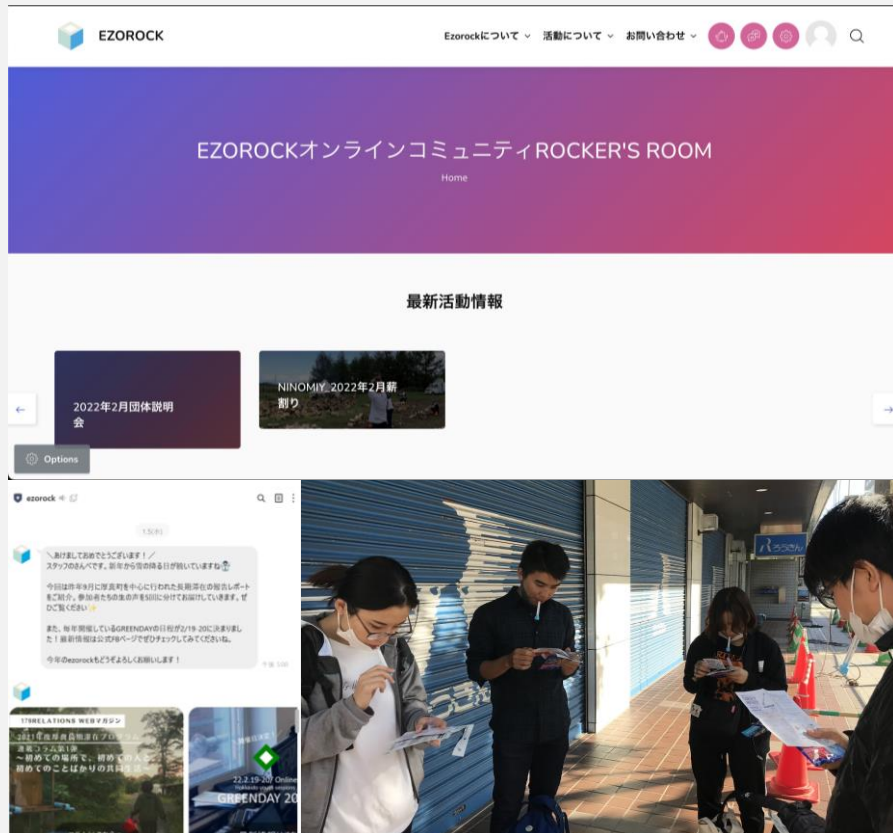


2021/5/21
北海道新聞

■モデルづくり②

【各地で実施されている地域づくりへの都市部の若手人材の巻き込み】

実施内容 環境・地域づくり現場でのボランティアコーディネート
公式LINEを活用した事前・事後フォローアップ
顧客管理システムと連動した申込みサイトの構築



■モデルづくり②



【各地で実施されている地域づくりへの都市部の若手人材の巻き込み】
(2020年4月～2022年2月)

活動地域：13地域

活動日数：325日

参加人数：のべ645人

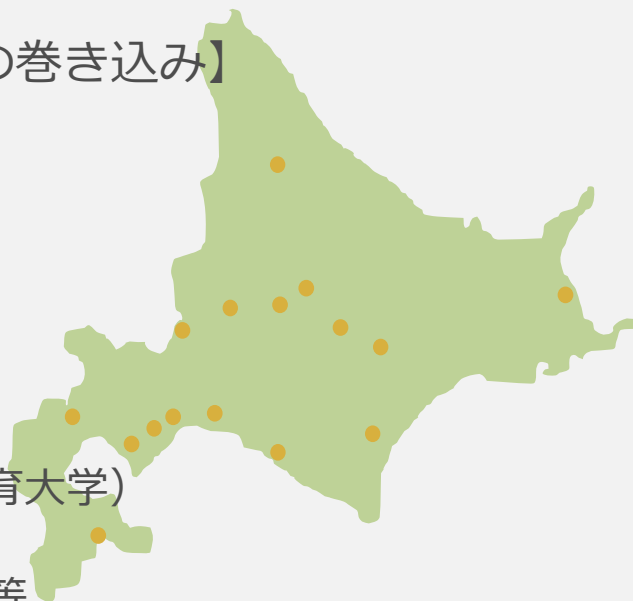
オンラインプログラム：17回／のべ274人

活動に継続的に関わる若者：人

活動内容：厚真長期滞在プログラム（厚真町教育員会・北海道教育大学）

国立公園内の自然保護（NPO法人大雪山自然学校）

森林整備・自然体験活動（NPO法人いぶり自然学校）等



■モデルの波及

【社会教育セクターに対する事例についてまとめたテキストの配布、中間支援の実施】



- 対象
主に各自治体の社会教育担当者
- 制作
本編動画+テキストブック（概要版）
- 対談・参加者変容に関わるヒアリング
26人
- 発行
2022年3月末予定



- ・ 私たちは社会教育をどのように捉えたらいいのか
- ・ 関わる人たちの主体性が引き出される環境とは
- ・ 「地域の持続可能性」について考える
- ・ これからのパートナーシップのつくり方
- ・ 事例検証～人口1200人のまちで考える暮らしと社会教育（石狩市浜益区）
- ・ 事例～地域と大学の双方に価値を生み出すには（厚真町）
- ・ 事例～地域振興の視点から考える若者を巻き込んだまちづくり（鷹栖町）
- ・ 活動に参加する若者の本音（座談会）
- ・ データ（参加者変容調査・コーディネーターに関する調査結果）

■ 評価

【検討委員会の実施】

定期的に事業をレビューし、各々の専門的な視点から意見交換を重ねている。
実施回数：4回／年（現状、全回オンラインで実施）



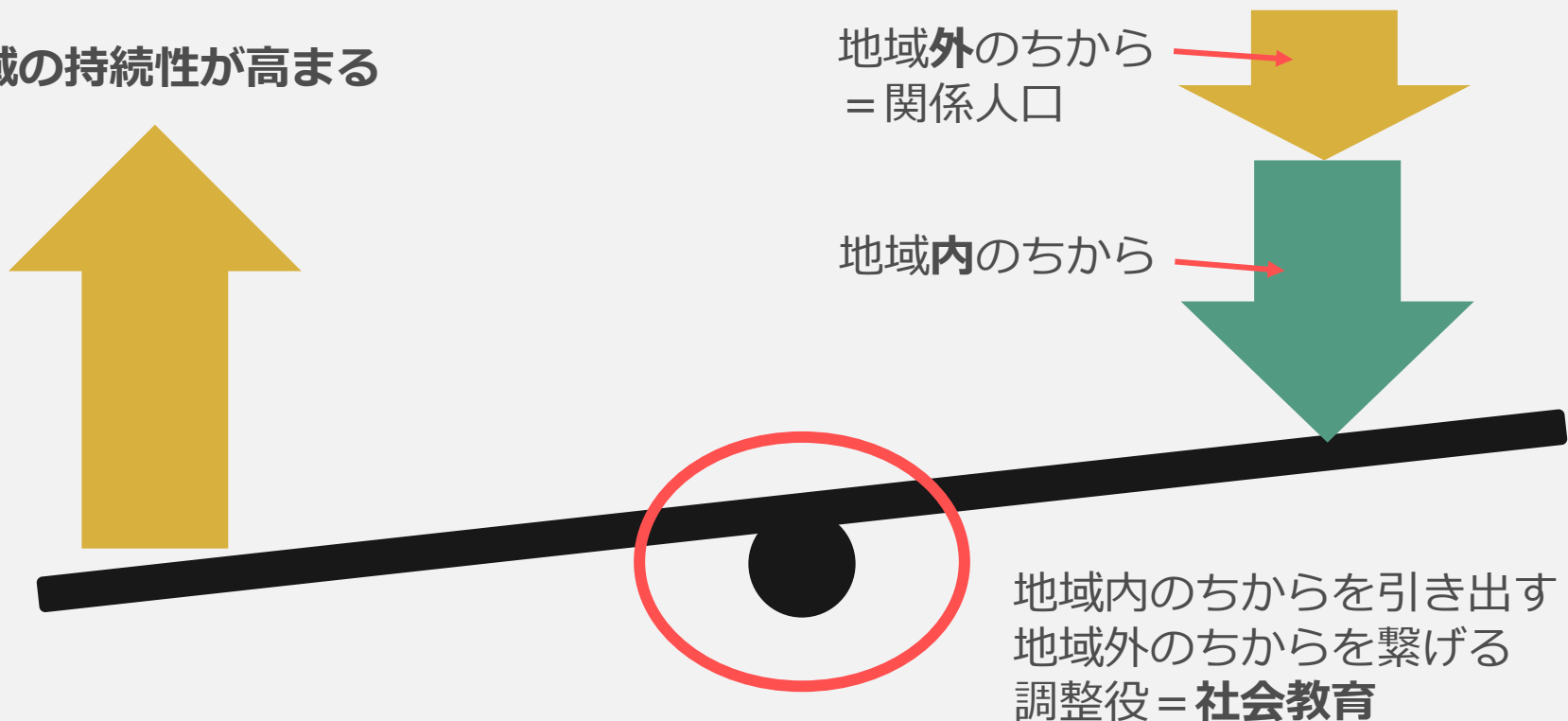
辻 智子氏
（北海道大学 教育学研究院）／専門家
斎藤 征人氏
（北海道教育大学函館校）／専門家

橋本正彦氏
（NPO法人みなと計画）／会議進行
合同会社Dialogger
／調査・テキスト作成受託
NPO法人ezorock／事務局
一社）北海道総合研究調査会
／オーブザーバー

■ 2022年度の活動

関係人口を活用した、若者が地域づくりに参画し、
次世代の担い手として育つモデルを**社会教育**分野をてこに波及させる。

地域の持続性が高まる





**北海道において、
地域の持続性を高めるために
次世代の担い手が育ち続ける
社会の実現を目指して**
